

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	住之江
学 校 名	新北島小学校
学校長名	武知 広幸

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・新北島小学校では、第6学年 66名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は、全国68%、大阪府66%、新北小61%（全国比90%、大阪府比92%）領域別に大阪府の中で比べた場合、「話す・聞く」領域は大阪府比98%、「書く」領域は大阪府比98%、「読む」領域は大阪府比96%であった。

算数の平均正答率は、全国63%、大阪府63%、新北小50%（全国比79%、大阪府比79%）領域別に大阪府の中で比べた場合、「数と計算」領域は73%、「図形」領域は84%、「変化と関係」領域は79%、「データの活用」領域は84%であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

成果…「話すこと・聞くこと」は昨年度同様に比較的にできている。昨年度は「書く」領域に課題があったが、今年度はあと少しで大阪府平均に届くところまで改善した。

課題… 情報と情報、語句と語句とを関係付けたり、関係性を図で表したりする「情報の扱い方に関する事項」に課題がある。

### 〔算数〕

成果…「図形」「データの活用」領域に関する問題は他領域よりも比較的にできている。また、選択式の問題の正答率は他（短答式・記述式）より高い。

課題…「数と計算」領域に一番の課題があり、「思考・判断・表現」を問う問題や「記述式」の問題に課題がある。

質問調査より

成果…「自分には良いところがある」「先生は認めてくれている」「先生に相談できる」「学校に行くのは楽しい」への肯定的回答が全国平均より高い。

課題…「平日1日のゲームをする時間」が3時間以上の児童が52%もいて、これは全国平均の1.7倍。また、Youtubeなどの動画視聴を3時間以上している児童の割合も33%もいて、これは全国平均の1.6倍である。さらに「平日1日の勉強をする時間」が30分以下の児童の割合は46%で全国平均の2.5倍である。

## 今後の取組(アクションプラン)

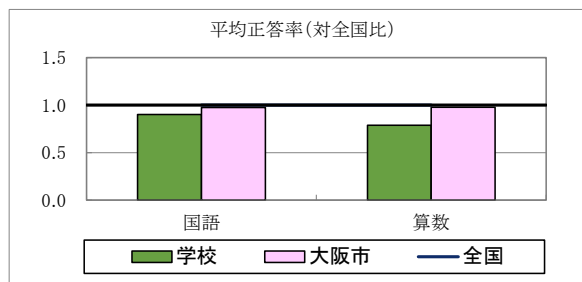
- 国語では、3つの取組によって平均正答率を上げる。
  1. 朝の読書タイムを徹底し、読書活動の充実を図る。
  2. 教科横断的に自分の考えや気持ちを書く場面を増やす。
  3. 簡単な読解問題のプリントを、継続的に取り組ませる指導体制を作る。

- 算数でも、3つの取組によって平均正答率を上げる。
  1. 全国学力調査に即した様々な問題を解く機会を設ける。
  2. 授業のまとめで「本時で学習した内容」を言語化させる指導を取り入れる。
  3. 放課後個別指導による個別最適化された学習環境を作る。

## 【 全体の概要 】

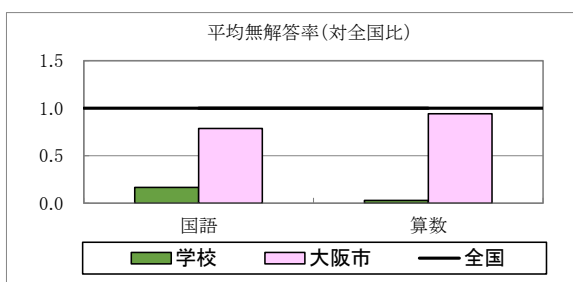
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61	50
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.7	0.1
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



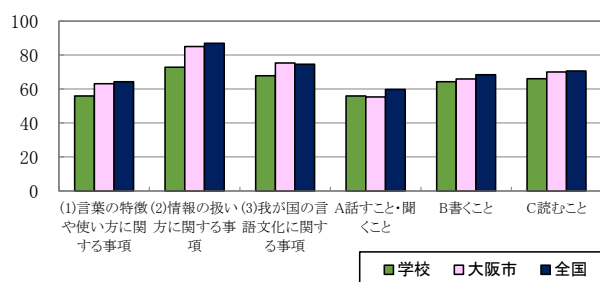
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	55.9	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	72.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	67.8	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.9	55.3	59.8
B 書くこと	2	64.4	65.9	68.4
C 読むこと	3	66.1	70.1	70.7

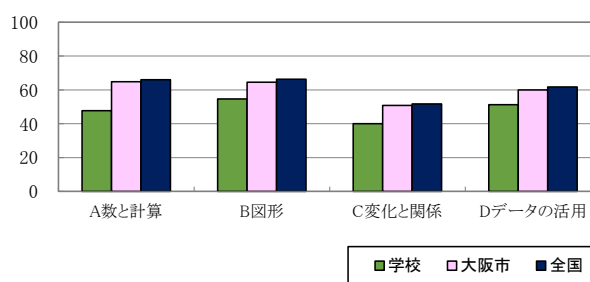
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	47.7	64.8	66.0
B 図形	4	54.7	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	40.1	50.8	51.7
D データの活用	4	51.3	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

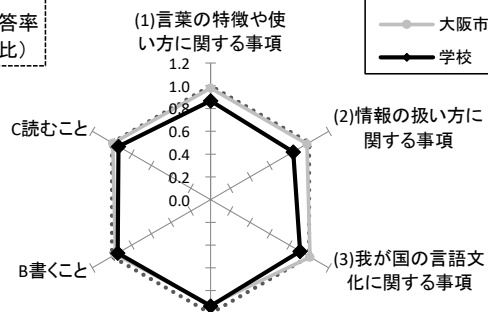


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



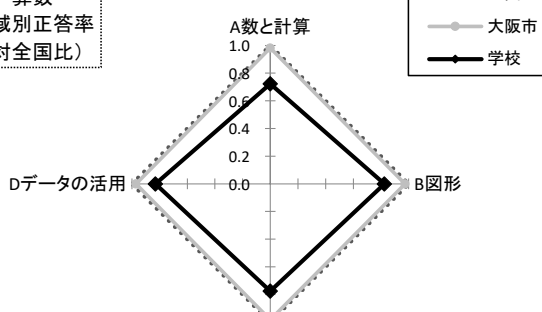
### 国語

内容別正答率  
(対全国比)



### 算数

領域別正答率  
(対全国比)



I  
A話すこと・聞くこと

II  
C変化と関係

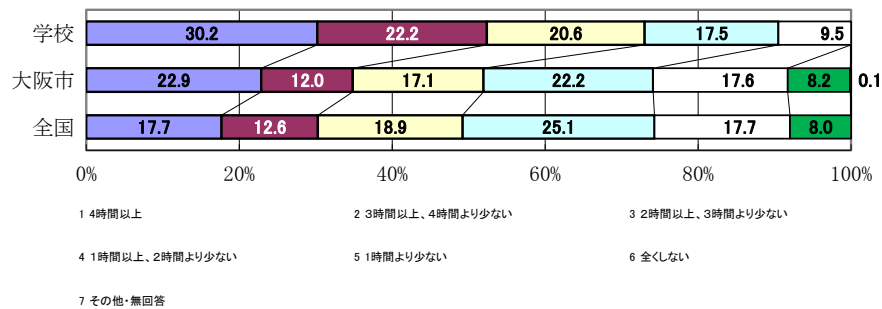
## 児童質問より

質問番号

質問事項

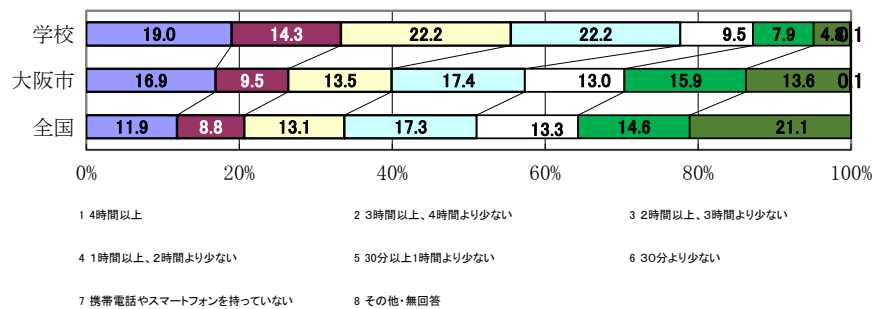
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



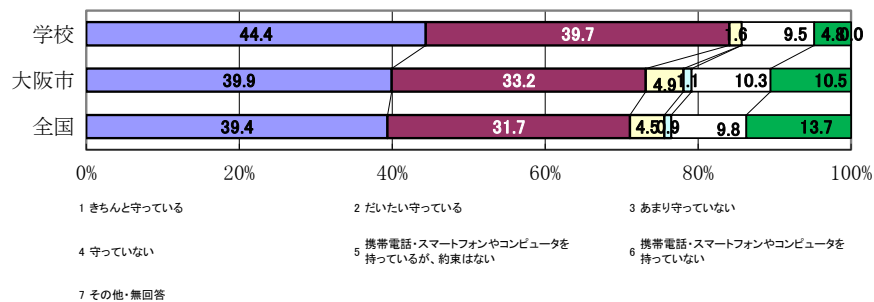
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



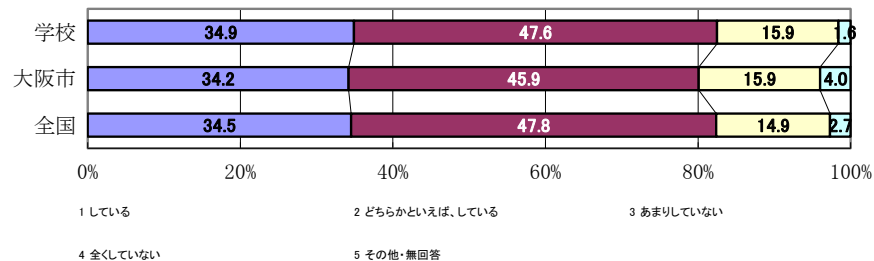
7

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



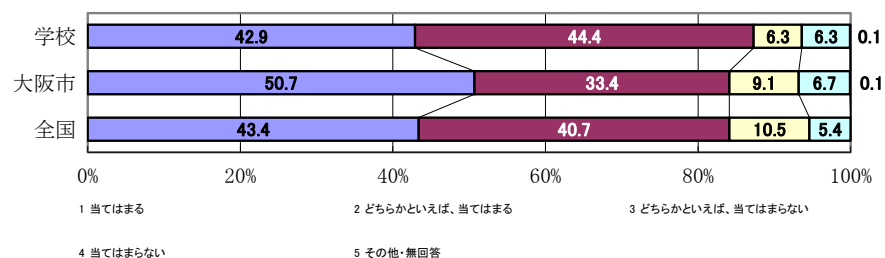
8

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



9

自分には、よいところがあると思いますか





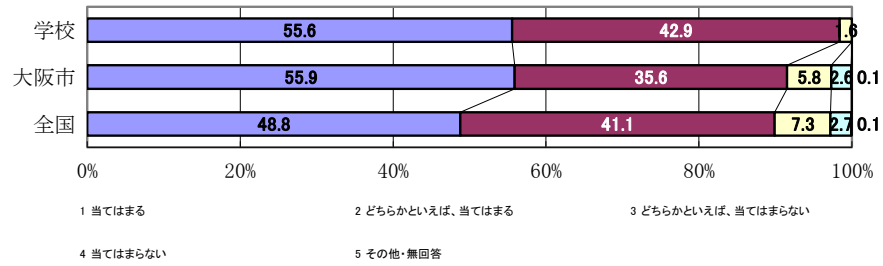
## 児童質問より

質問番号

質問事項

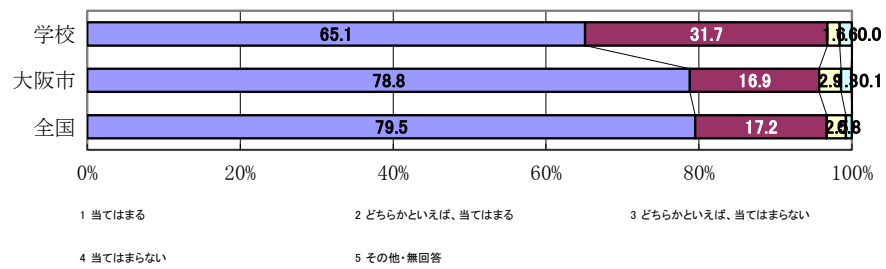
10

先生は、あなたのよいところを  
認めてくれていると思いますか



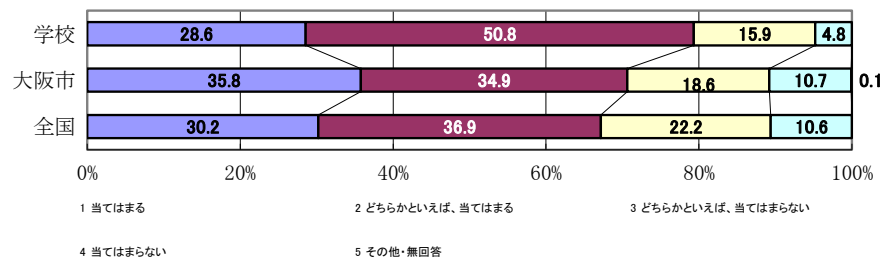
13

いじめは、どんな理由があつて  
もいけないことだと思いますか



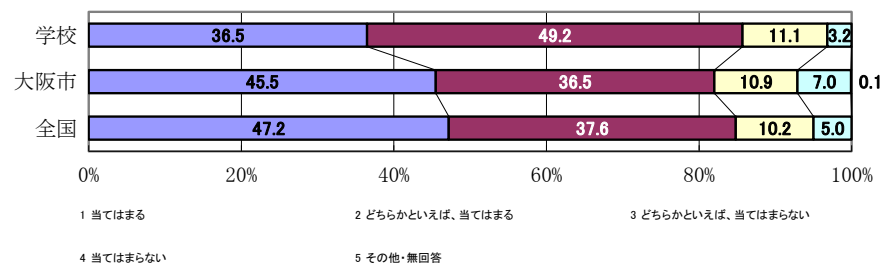
14

困りごとや不安がある時に、先  
生や学校にいる大人にいつで  
も相談できますか



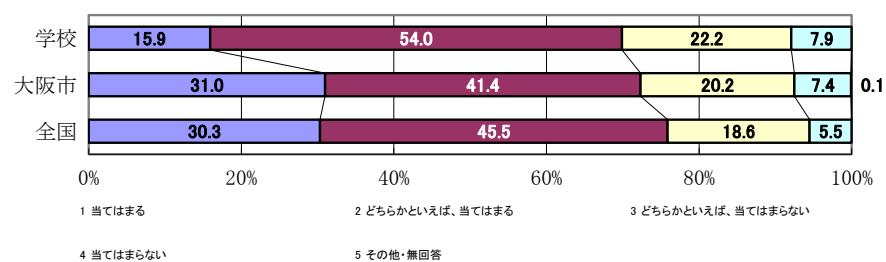
16

学校に行くのは楽しいと思ひ  
ますか



17

自分と違う意見について考え  
るのは楽しいと思ひますか







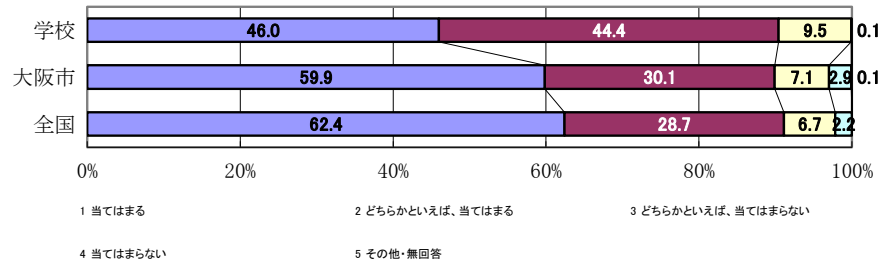
## 児童質問より

質問番号

質問事項

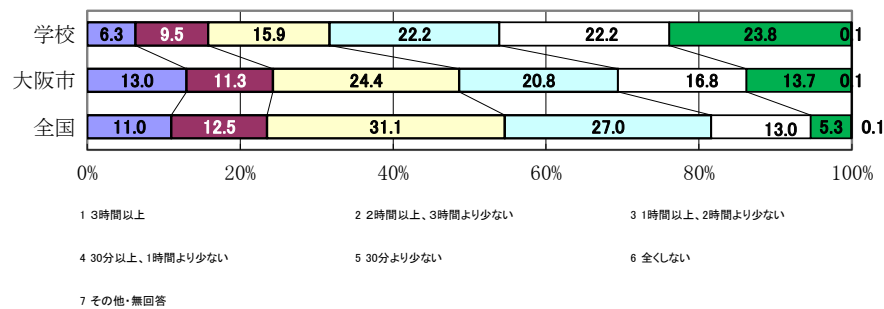
18

友達関係に満足していますか



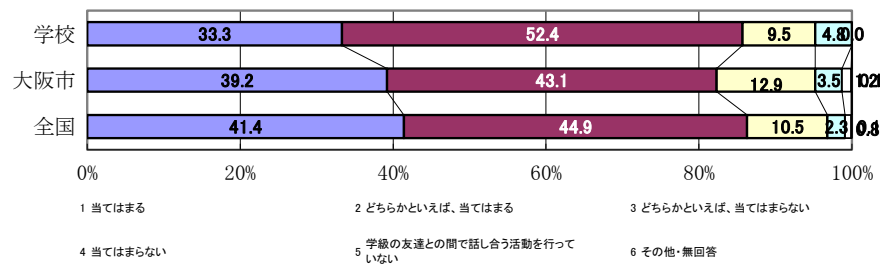
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか





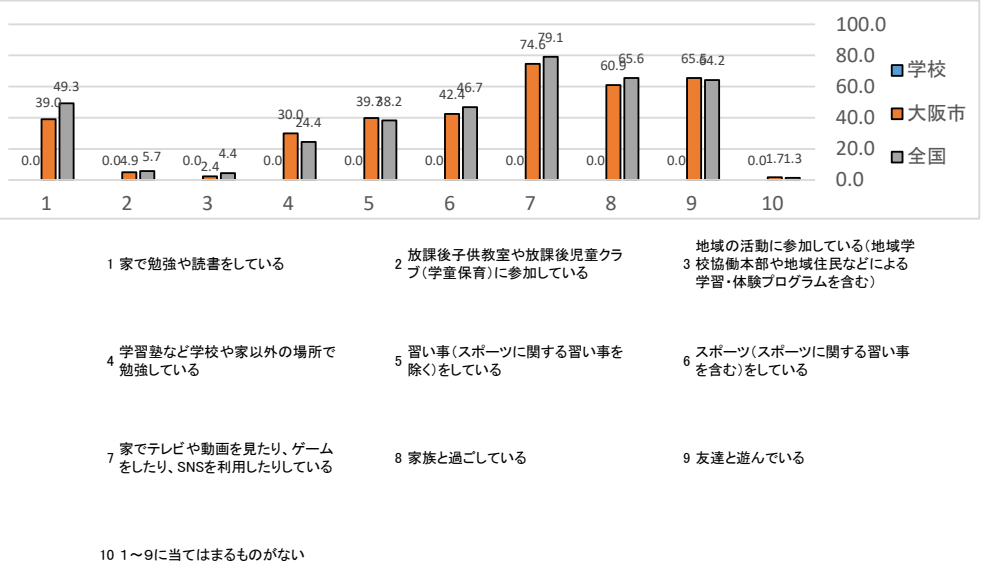
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして  
過ごすことが多いですか  
(複数選択)



## 学校質問より

質問番号

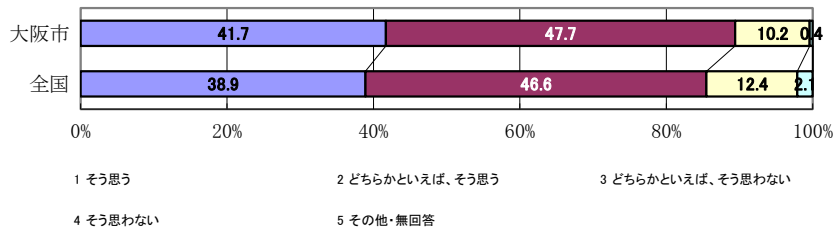
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

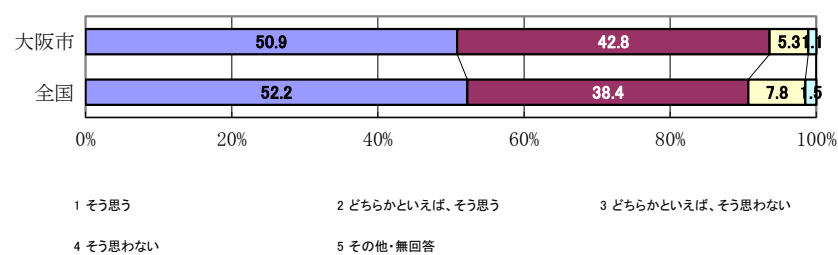
学校 「そう思う」を選択



8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

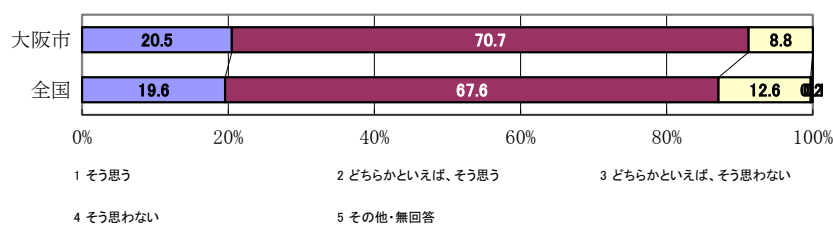
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

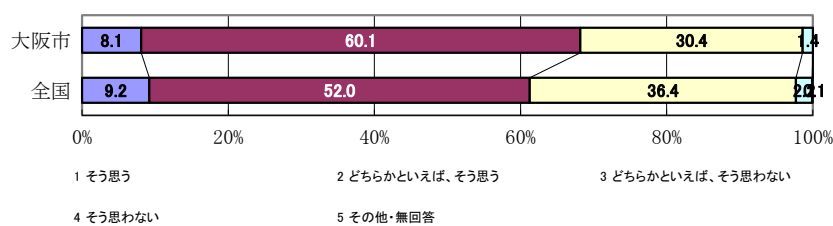
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

